

9月 定例会の概要

第415回定例市議会は、9月2日から19日までの18日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和元年度の一般会計補正予算案、条例の改正、工事請負契約の締結、人事案件など、全18議案のほか、請願1件、陳情4件、継続分の陳情2件、議員提出の市会案2件について審議しました。審議結果は、10・11ページのとおりです。

なお、30年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算議案については、10、11月に審査することになりました。

一般会計予算に 8760万円を追加

令和元年度一般会計予算に8760万円が追加され、予算の累計額が185億8172万円になりました。前年度同期と比較すると1・0割の増です。主な補正の内容は、下表のとおりです。

特別会計補正予算

- 介護保険事業特別会計
平成30年度介護保険料
剰余金の基金への積み立
て。30年度の支払基金交
付金や国県負担金の超過
交付分の返還金など。
- 簡易水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別
会計

30年度決算による各管理運営経費の剰余金の基金への積み立てなど。

補正のあった主な内容	補正額
★ RPA（ソフトウェアロボットによる業務プロセスの自動化）導入検討のため、対象業務の洗い出し、分析等を行う経費	61万円
★ マイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施準備のために必要となる経費	171万円
★ 災害に強い施設園芸産地づくりのため、認定農業者等の農業用ハウスの補強等に対し補助する経費	232万円
★ 真名川小水力発電施設整備事業費の増に伴い、市負担金を増額する経費	760万円
★ 九頭竜森林組合が行う高性能林業機械の導入に対し補助する経費	475万円
★ ショッピングモールVioの集客力向上を図るための事業計画策定、環境整備支援を行う経費	751万円
★ 重点道の駅「(仮称)結の故郷」のロゴマーク制作及び名称・ロゴマークの商標登録に係る経費	68万円
★ 道路拡幅に係る事業費を増額する経費	1701万円
★ 乾側小学校児童の安全安心な教育環境を確保するため、冬期間、旧蔵生小学校への一時移転を行う経費	645万円

その他の主な議案

大野市保育の必要性の認定基準に関する条例の一部を改正

子ども・子育て支援法の一部改正に伴う改正。
令和元年10月1日から、子育てのための施設等利用給付の認定基準が、子どものための教育・保育給付の認定基準と同じになりました。

大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正

住民基本台帳法施行令の一部改正等に伴う改正。
令和元年11月5日から、本人等からの請求により、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書に旧氏の記載ができます。また、性的少数者に対する配慮から、性別を削除します。

大野市消防手数料条例の一部を改正

令和元年10月1日から消費税法の一部改正等に伴う改正。地方公共団

体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所の設置の許可申請手数料の標準額が変わりました。

重点道の駅施設整備工事請負契約の締結

重点道の駅の建物を整備するため、次の工事請負契約を認めました。

- ① 地域振興施設、道路管理施設及び付帯施設に係る建築工事一式（建築その1）
- ② 地方創生施設に係る建築工事一式（建築その2）
- ③ 屋外交流広場、自動二輪駐車場、ハートフル駐車場及びコリドールに係る建築工事一式（建築その3）

- ※コリドール 屋根付き通路
- ④ 地域振興施設、道路管理施設、地方創生施設及び付帯施設に係る電気設備（強電）工事一式（電気設備その1）

- ⑤ 地域振興施設、道路管理施設、地方創生施設及び付帯施設に係る空調設備工事一式（空調設備）
- ⑥ 地域振興施設、道路管理施設、地方創生施設及び付帯施設に係る給排水設備工事一式（給排水設備）

●インターネット放映

本会議の様様をインターネットで録画配信しています。大野市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。（※視聴の際のデータ通信料は、ご自身の負担となります）。

今回の議会だよりから、一般質問ページにおいて、各議員ごとの録画映像（外部サイトYouTubeにより配信）へリンクするQRコードを掲載しています。

中部縦貫自動車道の 県内全線開通時のあるべき姿とは



新風会・公明党
はやし 順和
議員



まるごと道の駅ビジョンに示されたイメージの 絵のとおり

問 中部縦貫自動車道の県内全線開通時における、まちのあるべき姿は。また市民等は何をすべきか。

答 3月に策定した高速交通アクションプログラムで方向性を示した。あるべき姿は、まるごと道の駅ビジョンのイメージの絵のとおり。交流が盛んになり、人の行き来や住んでいる方が生き生きとすることで、大野市全体が生き生きとしている、盛り上がりつつあるという姿を描いたものとして共有していく。

問 国が地方創生の重点項目に掲げる「関係人口」は、人のつながりを大切にする本市にメリットが多く、一層取り組むべきである。今後、地元のコイディネーターを制度化し、市として委嘱するなどの検討も必要。関係人口の創出拡大につながる水への恩返し事業等は、外部からも評価を受けて

いるが、施策の方向性などのように考えるのか。

答 一夜限りのレストランに実際に参加して、市内在住の若手の方々の本市の良さなどを自分たちで考えて、つくり上げたところは、本当に素晴らしいと思ったと思っている。

問 人口減少が行政運営に与える影響は。

答 人口は、市の財政にじかに影響してくる。税収や交付税の算定数値にも含まれており、できる限り減らない方がよい。

問 人口減少下における地域課題解決に、総務省の「ローカル5G」導入が有効だと思うが。

答 現時点で、本市での導入や事業者に対する支援に取り組むことは難しいが、市内の5Gエリアの整備状況や事業者の今後の取り組み状況について情報収集に努める。事業者の相談は、市総務課情報統計室で受ける。

第六次大野市総合計画における中高生への アンケートの状況は



清風会
ながた 正幸
議員



中学3年生243人、高校3年生287人から 回答があった

問 第六次総合計画の策定に当たって実施したアンケートについて伺う。

答 中学3年生243人、高校3年生287人から回答があり、参考とする。

問 地区別ワークショップへの参加者が少ない。高校生には公職選挙法の改正もあり期待したいが、勉強に支障のない範囲で、積極的な働き掛けが必要ではないか。

答 本年6月に閣議決定されたまち・ひと・しごと創生基本方針において、高等学校、大学等における人材育成が掲げられており、本市では平成29年度から「わたしが未来の市長プロジェクト」を実施している。本年度は、大野高等学校が地域学習授業で取り組み、来年発表会を行う予定である。

問 文化会館の整備については、議会の議決によって事業費のうちの委託料が執行されない状況であるが、市民からの要望等も含めた現状を伺う。

答 本年3月に附帯決議を付して文化会館整備基本設計事業経費を議決いただいた。市民からは、基本設計事業の早期取り組みの要望書や建設計画の見直しの陳情書が提出されている。

問 有害鳥獣や豚コレラ対策について伺う。

答 有害鳥獣対策は、猟友会の協力で集中捕獲を実施している。また、ICT等を活用した捕獲についても検討する。

問 豚コレラは、7月6日に野生イノシシから県内で初めて本市で確認された。市内では1軒の養豚場で約100頭が飼育されているが、今のところ感染は確認されていない。捕獲イノシシ等は、本市の有害鳥獣分解処理施設で処理している。県と連携を図りながら感染の拡大防止にも努める。

市長の退職金が1期4年で1820万円 というのはいつ決まった額なのか



無党派

だにえるよしもと
ダニエル益資 議員



昭和51年に大野市が加入した福井県市町総合事務組合の条例等に基づいて定められている

- 問** 市長の退職金1期1820万円という額は、市民感覚からかけ離れているように感じられるが、この額はこういった根拠で算出されたものなのか。
- 答** 昭和51年に現在の福井県市町総合事務組合退職手当制度に加入した。退職金の支給率は、この組合の退職手当支給条例等で定められている。
- 問** この1期4年で1820万円という退職金の額は、やろうと思えば、本市独自で決められることなのか。
- 答** 市町総合事務組合の共同事務から外れば、市独自で決められないことはない。
- 問** 2期、3期される市長がこれまでにもいたが、再選されるにつれて、退職金の額も2期で3640万円、3期で5460万円となっていくのか。
- 答** 市長の退職金は、任期ごとに支給される。
- 問** この退職金の額について妥当な額かどうか、市長は個人的にどのよう
に思われるのか。
- 答** 全力を懸けて市長職を全うしようと思うときに、退職金が幾らなりかあるということについては、私の年代、あるいは無職になってからの挑戦ということを考えて、ある意味、若い方々や意欲的な方々が取り組むことにはなると思う。金額の多寡については、そういう意味で自分の考えを持っていない。
- 問** 退職金の多寡について、議会の場で答えられない理由は何か。
- 答** ダニエル議員は退職金の額が高いと思われるかもしれないが、自分が市長の仕事をしていく中で、歴代の市長が誠心誠意を懸けて務められてきたことだけは分かる。その意味で分からないということを申し上げたい。

一般質問

第六次大野市総合計画の策定に当たって、 市長はどのような理念と方針で臨むのか



未来おおの

まつたもとえ
松田元栄 議員



みんなが大野を好きになり、
未来へつなぐまちづくりを推進する

- 問** 第六次大野市総合計画の策定に当たり、市長の理念と方針は。
- 答** 人口減少時代でも生き生きと暮らし、自然豊かな環境のまま、自然と人々が共に生き続けられる、持続可能な地域づくりを目指す。
- 問** 本市のブランド戦略の魅力度とふれあい交流人口についての検証等は。
- 答** 魅力度（ブランド総合研究所の調査）を令和4年度300位以内としたが、平成30年度は585位に。令和2年の目標ふれあい交流人口を3万8000人としたが、昨年は人口が3万1827人、1日の観光入り込み客数が5448人で、ふれあい交流人口は3万7275人となった。近年、観光入り込み客数は横ばいで、人口減少分を補い切れない状況である。
- 問** 乾側小学校の耐震工事について。なぜ旧蔵生小学校に行かなければならないのか。
- 答** 国の耐震基準を満たしておらず、児童の安全、安心を最優先に、この冬から旧蔵生小学校で授業を行う。児童及び保護者に負担を掛けることを心苦しく思う。
- 問** 耐震工事と学校再編計画との関連性はどうか。
- 答** 結の故郷教育シンポジウム、小中学校のアンケート調査、保護者等との意見交換会の3本立てで意見を聞き、小中学校再編計画の見直しを進める。耐震対策は、結果を待つことなく取り組む。
- 問** 現校舎の耐震工事なのか、新校舎建設（軽量鉄骨仕様）なのか、今後どのように進めるか。
- 答** 快適な教育環境の提供や、掛かる経費を考慮し、複数の方法を示した。今後とも保護者及び地区住民の理解を得ながら耐震対策を早急に進める。

大野市の今後の財政の見通しはどうか



中長期的な見通しを立てるのは難しい

問 本市の財政状況について。平成29年度の経常収支比率は、県内で一番悪く98・9割であった。基金（貯金）の取り崩しがこの5年間で県下9市で福井市に次いで多く、年間約5億円の貯金を取り崩していることなど、心配な情報が多い。今後10年間の財政状況の見通しを、どのように考察しているのか。また、償還額（借金の返済額）が一番多くなる年度は、いつごろか。

答 本市の財政構造は、社会情勢の変化や国の政策などの依存財源などに影響されやすい地方交付税や補助金などの依存財源の比率が60割を超えている。5年、10年といった期間の財源を推測し、中長期的な見通しを立てることが難しい。償還額のピークは本年度で、来年度以降は減少する見込みである。

問 敦賀市は、5年間の財政計画を作成し、毎年見直している。本市での財政計画の作成はどうか。

答 3年ごとの振興実施計画を策定している。現時点では長期計画を立てることは考えていない。

問 小中学校再編計画の見直し事業の意見交換会の意見を讀むと、小学校の再編と中学校の再編について、市民の意見の傾向が違うのではないか。

答 現時点では、小学校と中学校では、教育における役割や現在直面している課題、再編への期待や不安に違いがある。小学校に関する主な意見は「人格形成されるまでは少人数で」「地域で育てる」「バス通学は負担」「子どもがたくさんいる環境が良い」など。中学校は「部活の種類」「人間関係の多様さ」「専門教科の教員について」などである。

未来おおの

木戸屋八代実 議員



精神障害者への就労支援をするための取り組みは

事業者の理解が何よりも必要なため、啓発活動を継続して実施していくとともに、関係機関と連携した取り組みを行う

問 精神障害者への就労支援をするための施策は。

答 本市では、奥越地区障害者自立支援協議会を通じて、障害のある人の就労を考えるシンポジウムの開催や障害理解に向けた研修会の開催など、事業者の障害や障害者理解に向けた啓発活動を実施してきた。精神障害者の雇用を促進するためには、事業者の理解が何よりも必要なため、こうした啓発活動を今後も継続して実施していく。

問 ダブルケア（子育てと介護の両立）及びヤングケアラー（若年介護者）の支援策は。

答 現在、結びあにおいて関係部署の連携による総合的な相談支援に努めている。ダブルケアやヤングケアラーについても地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターを中心に、ケアマネジャーや介護サービス事業者、また保育所などの子育て支援施設などが連携し、包括的な支援を提供していく必要がある。今後は、ケアマネジャー向けの研修会で取り組むほか、市民に気軽に相談していただけるよう、早期の適切な支援に努める。



新風会・公明党

松本 嘉彦 議員



一般質問

議会の新たな構成における 新市長の政治姿勢は



日本共産党大野市議員
さかえ まさひと
榮 正夫 議員



行政の継続性と市民との協働による市政の推進

問 新市長の新たな議会に対する政治姿勢について伺う。

答 行政の継続性と市民との協働による市政の推進に努めていく。

問 大野市文化会館整備基本設計事業費として、3月議会に7130万4000円の予算を計上し、議会が附帯決議を議決したことについて伺う。

答 この附帯決議は、市民の代表である議会の総意として議決されたもので、最大限尊重すべきと考えている。また本年度予算を早い段階で執行するため、何らかの機会を頂き、附帯決議で指摘された項目を委員会へ説明したが、まだ説明が完了していない。引き続き理解をいただけるよう説明していく。

れた。その内容は、委員会に報告されていないが、それが市長の政治姿勢なのか。

答 (仮称)和泉地域ふれあい交流センターは、平成25年10月に策定した大野市公共施設再編計画において、老朽化、耐震性に不安がある和泉支所、和泉公民館、地域福祉センターを一体的に移転する方向で整備をしている。

その整備内容は、和泉地区区長会に機会を捉えて説明等を行い、本年4月18日及び5月20日の区長会で最終整備計画案を理解いただいた。7月9日の説明会は、参加者が23人と少数だったが、施設整備の必要性、経緯、今後のスケジュールについて説明した。なお参加されなかった方々への説明会資料の回覧を各区長にお願いした。

問 (仮称)和泉地域ふれあい交流センターの住民説明会が7月9日に開か

一般質問

大型事業を見直して、暮らしに支援を



日本共産党大野市議員
のむら まさひと
野村 勝人 議員



新たな方策への転換なども検討していく

問 産業団地の造成には約10億円、道の駅には約22億円が計上された。暮らし福祉には予算がないと言いつつ、市民生活が大変なときに、暮らし福祉を後回しにして、大型事業をどんどん進めていく。これでは「財政が圧迫するから」という言い訳は通用しない。市民から集めた税金は、市民の暮らしのために使うべきではないか。

答 大野市総合戦略では、雇用創出や交流人口の増加、結婚・出産・子育て支援、地域づくりなどに総合的に取り組んできたが、本年度からは、各施策の課題や方向性の総合的な検証に取り組み、新たな方策への転換なども検討していく。

国民健康保険は、国や県に対し、さらなる財政支援を要望していく。妊産婦の医療費助成に

については、県内自治体の状況を注視していく。結の故郷すこやか・ゆめみらい応援券事業は、経済的支援として助かったという意見がある一方で、少子化対策という観点から捉えると、婚姻、出産の増加にはつながっていない状況である。本事業は、大野市総合戦略の重点事業の一つとして位置付けられているため、子育て世代に対する支援についても検討していく。

また、子ども医療費の助成についても、総合的な視点での子育て世代に対する子育て支援策の中で検討していきたい。



小中学校の来年度の予算の中で、 エアコンの設置についての対応は



新風会・公明党

廣瀬 浩司 議員



中学校は理科室を中心に、小学校は学校と協議しながら予算要求をしていく

問 来年度予算の中で、エアコンの設置については、どのような対応をしていくのか。

答 中学校の理科の授業は、中1で週3時間、中2、中3では週4時間、必ず理科室へ行って授業を受ける。夏場の暑い時期でも、火を扱う実験の場合には、風があると危険なので、必ず窓を閉めて実験しなければならぬ。中学校では、まず理科室にエアコンを配備してもらいたい。

答 中学校に関しては、理科室の使用頻度が高いと認識しているので、理科室を中心に予算要求したい。

問 小学校は、週当たり授業数は、音楽より理科のほうが多い。しかし、小学校では、理科の授業を全て理科室で行うわけではない。そこで、小学校においては、学校の要

望を聞きながら設置を進めることはできないのか。

答 学校とも協議をしながら予算要求を進めていくことは、可能である。

問 来年の4月1日から会計年度任用職員制度が施行されるが、今後のスケジュールは。

答 年明け以降、職員の募集と選考を行っていくたい。

問 採用試験を実施するのか。

答 競争試験又は選考を行うが、内容は未定。

問 制度を導入することで人件費が増えることが考えられるが、支出を抑えるために職員数を減らすことは考えているのか。

答 それぞれの職において必要な職であると考えている。

市民の防災力を高めていくために 防災士の資格取得を進めていく予定は



新風会・公明党

伊東由起恵 議員



県の防災士養成研修を活用し、資格取得を促進している

問 防災士を中心とした住民主体の災害に強いまちづくりのために、防災士の育成が望まれるが、大野市には、何人の防災士がいるのか。また、今後、資格取得を進めていく予定はあるか。

答 本年4月1日現在の資格取得状況は、男性67人、女性15人の計82人である。県の防災士養成研修を活用し、自己負担額8000円で取得できるので、取得を促進している。

問 来年のオリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、障害者スポーツを共に楽しむ行事を開催してみてもどうか。

答 障害者と健常者が同じフィールドで活動することは、相互理解と共感を深めるために大変有効と考える。スポーツ全般に関心が高まる、またとないチャンスと捉え、共生による生涯スポーツの

普及、促進を図っていく。

問 高齢化社会に伴い、車いす利用者も増加していくため、いま一度、市内の公共施設のバリアフリー化を進めてみてはどうか。

答 誰もが安心して安全に移動できるよう、バリアフリー化を進めている。特に老朽化した点字ブロックなど、緊急性の高いものは随時対応し、全庁的に取り組んでいく。

問 引きこもりの本人や家族等が抱える悩みについて、市の相談窓口はあるのか。

答 福祉こども課、健康長寿課が窓口となつて相談支援を行っている。奥越健康福祉センターでは、精神科医師による定期相談を実施している。

また、自立支援センターふらつとやハローワークなどと連携を図りながら支援に取り組んでいる。

一般質問

本市で頑張っている人たちを助成する仕組みは

ふるさと納税を利用したクラウドファンディングを調査、研究していく



清風会

堀田 昭一
ほりうち しょういち

議員



- 問** 就労の機会を増やすため、ふるさと納税を専門的に扱うチームをつかって、ふるさと納税の経費を大野市内で循環させてはどうか。
- 答** 現在、担当者は2人だが、課全体を挙げて、協力し合いながら努める。
- 問** 返礼品や大野市のPRという意味で、福祉関係施設の品物を取り扱って、就労の機会を増やしては。
- 答** 現在、市内の福祉関係施設に働き掛けを行っている。
- 問** 知名度アップ、イメージアップ、認知度の向上ということにならなければ、ふるさと納税の使い道を明確化する必要があると思うが、見解は。
- 答** 現在のところ、使途を明確化する予定はない。
- 問** 今後、寄付者とのつながりを深める活動についての見解は。
- 答** 本市を訪れていただく体験ツアーを返礼品のメニューに加えられるよう努める。
- 問** 本市で頑張っている人たちを助成するため、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングの仕組みを作っては。
- 答** 頑張っている方々を応援できるように、先行の自治体や県の事例を調査、研究していく。
- 問** 道の駅に outlets が決定したモンベルとの連携した取り組みの進捗（しんちよく）状況は。
- 答** 大野・勝山・永平寺観光推進エリア創出計画において、モンベルのグループ会社に委託してサイクルリングコースを設定し、現在はレンタサイクル拠点の整備を進めている。



鳥瞰（ちようかん）図

一般質問

区長の負担軽減のため、依頼事項を正確に把握する部署が必要ではないか

依頼事項が増えていかないよう、区長への負担の掛からない形で考えていく



新風会・公明党

白崎 貴之
しらさき たかゆき

議員



- 問** 区長・行政連絡事務嘱託員に依頼する職務は、どんなものがあるのか。
- 答** 住民実態の把握やさまざまなお知らせの配布、回覧を依頼。配布物等の件数は昨年度で169件であった。また、保健推進員などの選出依頼や市内全9地区に環境監視員を、関係する地区に十数種類の委員の選出を依頼している。さらに30種類以上の各種審議会委員の選出も区長連合会を通じて依頼。併せて募金等の取りまとめのほか、約10種類の申請事務などもお願いしている。
- 問** 行政側から依頼していることを正確に把握する部署が必要だと思うが。
- 答** 市からの依頼事項については極力把握し、依頼事項が増えないよう、負担の掛からない形で考えていく。
- 問** 有害鳥獣分解処理施設の実験期間から本格稼働までの経過及び地元への説明状況は。
- 答** 実証実験実施のため、平成29年1月中旬に地元区長に説明し、了解を得て、1月下旬から実験開始。その結果を確認し、本格導入に向け、同年8月に地元区長に対して説明し、了解を得た。10月には地元での鳥獣害対策説明会に併せて、地区住民への説明も行い、翌年4月から本格稼働している。
- 問** 人は、企業にとつては最も重要な資源であるが、人手不足の現状をどのように考えているのか。
- 答** 企業の継続的な発展と雇用の維持、確保に深刻な影響を及ぼすと考えており、市職員が直接企業に聞き取りを行い、対応策について意見交換を行ったり、関係機関などとも改善策を協議している。



市長が提唱しているSDGsは、本市の計画などにはどのようなものがあるのか

第六次大野市総合計画をはじめとした各種計画にSDGsの考え方を盛り込む

双葉会
高岡 和行 議員



問 市長の政治姿勢について、市長は就任以来、SDGsを提唱しているが、本市の計画や事務事業にはどのようなものがあるのか。またその進捗（しんちよく）はどうか。

答 第六次大野市総合計画をはじめとした各種計画にSDGsの考え方を盛り込む。

問 市民と協働でのまちづくりに関して、現在進行中の事業進捗はどうか。

答 新たな取り組みとして、商店街での創業につながるためのまちづくり会社や商店街等が行う事業への支援のほか、市民の健康づくりポイント事業などを実施している。

問 管内商工業の活性化をどのように考えるのか。

答 事業主の8割以上が60歳以上と高齢化しており、後継者のいない事業者が7割以上となっていることを踏まえ、各種支援を行っていく。

問 本市の基金残高は、平成17年度には74億円、30年度末は51億円で間違いないか。

答 17年度末に74億円余り、30年度末は土地開発基金等を入れると63億円余りになる。

問 来年度から売り出す産業団地の広さと価格は。

答 全体12軒のうち、6軒を売り出すが、価格は決まっていない。

問 企業が来ても、人材が確保できるのか。

答 手をこまねいているわけではなく、いろんな企業に当たっている。

問 道の駅に入る企業等はどうか。

答 テナント的には、ほぼ埋まる状況だが、まだ2事業者ほど入るスペースがある。

問 産直の会の登録メンバーが目標400件とのことだが、現状はどうか。

答 現在200弱の件数だが、さらに増やしたい。

●市議会を傍聴しましょう

本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてください。傍聴席（R階）にお入りください。

次回、12月定例会の予定は次のとおりです。

日程(案)	区分	審議等の内容
12月2日 月	本会議	決算特別委員長報告、質疑、討論、採決、議案上程、提案理由説明
9日 月	本会議	一般質問
10日 火	本会議	一般質問、請願・陳情上程
11日 水	委員会	10:00 産経建設常任委員会
12日 木	委員会	10:00 民生環境常任委員会
13日 金	委員会	10:00 総務文教常任委員会
16日 月	委員会	10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
18日 水	本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。
※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。
詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。
(☎0779-64-4830)



議場の傍聴席

傍聴に当たってのお願い

- ・携帯電話は、電源を切るかマナーモードにするとともに議会中は操作しないようにしてください。
- ・議会の円滑な運営のため、静かに傍聴してください。

●委員会も傍聴できます！

常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。

傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局まで申し出てください。

なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。

申し出書は自署された場合、押印は不要です。

令和元年9月第415回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣	木	林	ダ	白	伊	松	廣	堀	高	野	梅	永	松	川	高	畑	榮	
				瀬	戸	順	ニ	崎	本	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
市長提案	56	令和元年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
	57	令和元年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	58	令和元年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	59	令和元年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	60	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	61	大野市保育の必要性の認定基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	62	大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	63	大野市消防手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	64	大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○
	65	重点道の駅施設整備工事（建築その1）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
	66	重点道の駅施設整備工事（建築その2）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
	67	重点道の駅施設整備工事（建築その3）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
	68	重点道の駅施設整備工事（電気設備その1）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
	69	重点道の駅施設整備工事（空調設備）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×
70	重点道の駅施設整備工事（給排水設備）請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	×	
市会案	71	平成30年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	
	72	平成30年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	
	73	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○
請願	2	新たな過疎対策法の制定に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○
	3	免税軽油制度の継続を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○
陳情	1	日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める請願	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	否	否	賛	
	5	名水百選「御清水」（殿様清水）を残すための陳情	継続審査	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○
	6	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	／	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
陳情	7	大野市文化会館建設計画見直しの陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	退	賛	/	否	否	否	退	退	賛
	8	免税軽油制度の継続を求める陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛
陳情(継続分)	3	御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情書	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	×	○
陳情(継続分)	4	大野市議会の議員定数削減に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	/	賛	賛	賛	賛	賛	否

議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」
 継続審査とすることに賛成○、反対×。退場は「退」と表示（態度保留の場合は、採決前に議場から退出する）

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

新たに太田温子氏（中津川）を推薦することに同意しました。

見直しの陳情

○陳情者 「大事な孫への土産」を考える有志の会
 代表 米村俊太郎ほか1名

請願・陳情

日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める請願

○請願者 福井県農民連
 会長 玉村正夫
 ○紹介議員 榮 正夫議員、野村勝人議員

名水百選「御清水」(殿様清水)を残すための陳情

○陳情者 「御清水」(殿様清水)残す活動 代表 堂林通臣ほか賛同者2名

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

○陳情者 自治労福井県本部 執行委員長 橋岡克典

大野市文化会館建設計画

○陳情者 森山観光株式会社 代表取締役 三輪欣也ほか1名

免税軽油制度の継続を求める陳情

○陳情者 大野の水環境ネットワーク 代表 石田俊夫

御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情書「継続審査分」

○陳情者 大野市区長連合会 会長 常見悦郎

大野市議会の議員定数削減に関する陳情書「継続審査分」

○陳情者 大野市区長連合会 会長 常見悦郎

意見書

次の意見書を政府関係機関へ提出しました。

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

○免税軽油制度の継続を求める意見書

常任委員会審査

Q&A

産経建設

（高田委員長、堀田副委員長、ダニエル、松本、松田、川端）

橋りょう補修事業について

Q 橋りょうの管理の現状は。

A 市内に444ある全ての橋は、平成26から30年度までに5年に一度の法定点検を終えている。本年度は点検結果に基づき、23年度に策定した修繕計画の見直しを行い、来年度以降に修繕していく。

◎委員からの主な意見

修繕計画の見直しに当たっては、厳しい財政状況を踏まえ、10年後、20年後を見据え、一時期に修繕経費がかさむことがないように、全体像を把握し、情報を市民と共有しながら進めてもらいたい。



橋りょう点検の様子

免税軽油制度の継続を求める陳情について

令和2年度末までとなっている軽油引取税の免税措置の継続を求める趣旨の陳情がスキー場関連の索道事業者から提出された。この免税制度はスキー場経営だけでなく、本市の場合、農業、林業をはじめ木材加工業など多くの事業者にも影響を与える制度であり、地方創生の推進や産業の活性化、観光振興に向けた取り組みの充実・強化が必要であることから全会一致で採択とし、政府・関係機関に対して提出する免税軽油制度の継続を求める意見書の案を委員会として決定した。

▼民生環境

(永田委員長、野村副委員長、木戸屋、林、伊東、畑中)

休日急患診療所の土曜深夜待機について

現在、土曜日の午後9時から翌朝9時まで、内科医師1人、外科医師1人、計2人の医師と嘱託看護師2人が深夜待機をしている。患者数の減少や、大病院の医師についても、派遣が難しくなってきたり、令和2年4月から土曜深夜待機の廃止を予定している。



休日急患診療所

また、土曜深夜待機の廃止後の対応としては「かかりつけ医の浸透と病診連携の推進」病院群輪番制病院制度による重症救急患者の搬送」「小児救急医療支援事業による夜間の小児患者の救急体制」を継続して進める。

救急医療に対する受け入れ体制について、市民への周知を行うとの説明があった。

◎委員からの主な意見

諸情勢に対応した適切な方法により、市民の安全、安心の確保をお願いしたい。

名水百選「御清水」(殿様清水)を残すための陳情について

Q 周辺環境への影響調査における水質検査で、大腸菌が検出されたのではないか。

A 前回の検査では、水の採取方法に不備があったことが考えられるので、この秋に実施予定の再調査においては、そのようなことがないよう、慎重に調査を行う。

◎委員会での結果

大野の将来を左右する可能性が考えられるので、11月に実施される再調査の結果をしっかりと判断して議論を進めるべきとして、賛成多数で継続審査とした。



御清水

御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情について

御清水があるエリアでの試掘の再調査をこの秋に実施する予定であるとの説明があった。

◎委員会での結果

御清水周辺での試掘調査の結果を見る必要があるとして、賛成多数で継続審査とした。

▼総務文教

(高岡委員長、廣田副委員長、廣瀬、白崎、梅林、榮)

乾側小学校児童の安全安心な教育環境を確保することを目的とした小学校教育環境整備事業について

Q 児童の移動には、スクールバスを1台運行することだが、ワゴン車などを利用して、各方面2台に分けて運行してはどうか。

A 保護者の方とも協議をして検討したい。



乾側小学校

おり、計画の見直しまでは求めていないことから不採択と決した。

▼議会運営

(畑中委員長、白崎副委員長、木戸屋、林、廣田、高田、榮)

大野市議会の議員定数削減に関する陳情について

この陳情は、当市の人口を平成12年と比較すると、約2割が減少しており、今後の人口の推移などを勘案すると、現在の議員定数では多いと考えられること、議員定数も19年3月議会以降これまで見直されていないことから、現在の18人から定数を削減するよう求めるもの。

6月定例会では全会一致で継続審査と決した。

◎委員会での結果

人口減少が進んでいる中、4年後を見据えて、削減することが妥当であることから、賛成多数で採択と決した。



旧蔵生小学校

◎委員からの主な意見

により「乗車時間の短縮」「児童の身体的な負担軽減」「経費削減」につながる可能性が考えられるので、しっかりと検討されたい。

大野市文化会館建設計画見直しの陳情について

この陳情は、文化会館建設の目的、費用対効果を検討した計画に変更するよう見直しを求めるもの。本事業については、基本設計の内容について附帯決議を付して認めて

特別委員会 報告

▼人口減少対策

(廣田委員長、林副委員長、木戸屋、ダニエル、伊東、高田、永田、榮)

9月定例会に先立ち、閉会中の8月22日に臨時の委員会を開催。地域子育て支援センターを見学し、子育て支援や相談業務の担当者から話を聞き、子育て支援に関する市民ニーズの実態などについて調査した。9月定例会では、子育てサークルの現状や公園の遊具の更新、維持管理などについて理



子育て相談の様子

事者を含めた意見交換と議論を行った。

公園の遊具の更新について

平成26から29年度までに老朽化している危険な遊具の全てについて、更新や修繕、撤去を完了した。今後は遊具の統廃合など、長期的な視点に立ち、公園の在り方について考える時期にきている。利用者のニーズや費用対効果を考え、全ての公園の遊具を更新するのではなく、多くの市民が利用している公園の遊具を集中的に整備していくことも考えていかなければならないと考えているとの理事者からの意見が述べられた。

認定こども園について

委員からは、認定こども園の果たす地域子育て支援の拠点としての機能が十分に発揮されるよう、子ども遊び場について、認定こども園の遊具の開放などの連携も必要でないかとの意見が出された。

全庁的な子育て支援に対する認識

委員からは、既存事業であっても、子育て世代に目を向けた形に仕組みを変えたり、子育て支援の要素を取り込むことにより既存予算の範囲内で、地域や社会全体で子育てをする仕組みを構築できるようにしてもらいたいとの意見が出された。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、廣瀬副委員長、白崎、松本、堀田、野村、松田、畑中)

中部縦貫自動車道工事の進捗(しんちよく)状況等について

大野東・和泉区間の下山地係で建設中である、九頭竜川橋の上部工部分完成間近である。

8月25日に開催したトンネルコンサートは、募集開始初日に定員に達するほど、大盛況だったとの説明があった。

◎委員からの主な意見

工事に関するイベント



九頭竜川橋上部工事の状況

を通じて、市民の皆さまに大野油坂道路事業をより身近なものとして捉えていただけるよう、今後とも工事の進捗状況に合わせたコンサートなどの開催について、国土交通省に働き掛けていきたい。

議員定数 適正化協議会

(梅林議長、松田副議長、木戸屋、林、白崎、廣田、堀田、高田、畑中、榮)

これまでに、4回の会議を開催し、丁寧に議論を尽くした結果、当市の人口減少や市政状況を勘

案し、議員定数については、削減することが妥当であるとの結論に至った。

委員会 視察レポート

▼議会だより編集委員会

7月23日・24日に、議会だよりの編集方法や紙面レイアウトの工夫点などについて、和歌山県の橋本市と由良町を訪れ、研修しました。



橋本市での研修

橋本市では、表紙の写真は市民から公募したものを掲載。一般質問のペ

ージでは、答弁のフォントを変えてより見やすくしたり、質問議員それぞれにQRコードを掲載してYouTubeにリンクさせるなどの工夫がなされています。



由良町での研修

由良町では、写真を多く取り入れており、その写真はフリー素材を使うのではなく、委員が足を運んで撮りに行った、躍動感のある生き生きとした写真を使うとのこと。また、積極的にホワイトスペースを取り入れたり、住民を掲載する紙面に心掛けているとの説明を受けました。

議会用語の Q&A

議会で使われる言葉は、生活の中では馴染みの薄いものが数多くあります。今回、皆さんに議会でのやりとりをより分かっていただくために、一部の用語を解説します。

Q 議案とは

A 議会の議決を要する案件のことです。議案には市長が提出するもの、議員が提出するもの、そして委員会が提出するものがあります。条例を設け又は改正・廃止すること、予算を定めること、決算を認定することのほかに意見書・決議などがあります。

Q 請願・陳情とは

A 市民の皆さんが希望を議会に願い出ること、文書により提出していただくこととなります。請願の場合は議員の紹介（1人以上）が必要です。

Q 一般質問とは

A 市政全般における諸問題について、市長の考えを問う質問をいいます。

Q 討論とは

A 議案などについて、反対・賛成の意見をたたかわすことをいいます。通常は反対と賛成を交互に行いますが、いずれか一方の場合もあります。

Q 意見書とは

A 市民の皆さんの生活に直接関わることで、国や県などの仕事の場合は、市だけでは解決できません。そのようなことに関して、議会の意思を意見としてまとめたものをいいます。意見書は地方自治法に基づき、国や県などに提出します。

Q 採決とは

A 議長が議案に対する賛否を議員に問い、可決や否決など、議会の態度を決定する行為をいいます。

● 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。

請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。

定例会初日の午後5時まで提出されたものは、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

☎0779-64-4830

● 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や議会図書室で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。

また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。

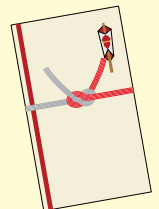
ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

寄付行為の禁止

議員は、お祭のときなどにお金を寄付したり、お酒を届けることを禁止されています。

有権者が求めてもいけません。

（公職選挙法の規定）



編集後記

【令和】改元より5カ月余り。例年になく数多くの台風が日本列島を襲い、各地で甚大な被害をもたらしました。台風被害で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

大野市においては、第六次大野市総合計画の策定に当たり、学校再編をはじめとしたさまざまな課題について、広く市民の皆さまからご意見を聞かせていただく機会を設けています。時代とともに変わっていくもの、いつまでも変わらぬに残したいもの、それぞれの選択の先に見えてくる、今よりもっと輝いている大野のために、ひとりでも多くの市民の皆さまと心を結び、新たな挑戦を開始していきたいと思えます。

（座長 伊東由起恵）

議会だより編集委員会

委員 伊東由起恵

木戸屋八代実

高田 育昌

野村 勝人

永田 正幸

高岡 和行

※次回は、1月下旬の発行を予定しています。